



第52号  
【年3回発行】  
日置地区  
社会教育振興会  
〈事務局〉  
鹿児島教育事務所

失敗した時にこそ受容傾聴を...  
アドバイスをするなら最後に  
日置地区PTA正副会長等研修会  
(兼人権教育ブロック別指導者研修会)

令和4年7月2日(土)、いちきアクアホールにて開催され、各市P連、関係者150人の参加者がありました。本県出身で、元防衛医科大学校教授の高橋聡美先生が講演し、子供を守るために大人がすべきことを学びました。

演題「子どものSOSの受け止め方、親子で育む自尊感情」

高橋さんは、ご自身の子供時代や子育ての話を折り込みながら、子供との関わり方、心のSOSの出し方などについて、時には鹿児島弁も交えながらユーモアたっぷりに、楽しくお話ししてくださいました。「子供は親に心配をかけないように

に、自分の困っていること、悩んでいることを伝えられない場合がある。「失敗をすぐ否定することで子供は萎縮する。自尊感情を高めるには、失敗した時には、



講師の高橋氏

最後の奉納

国指定重要無形民俗文化財「市来の七夕踊」

約400年の歴史がある国の重要無形民俗文化財「市来の七夕踊」は8月7日(日)が最後の奉納となりました。踊りを継承してきた、いちき串木野市大里地区の少子高齢化が進み、後継者不足で継続が困難となり、やむなく「休止」となりました。

「最後」の七夕踊

県文化財保護指導委員 寺田 緑

現行の開催が最後となる今年も、コロナ禍にみまわれ、太鼓踊・行列物は感染防止対策として参加人数を減らし規模を縮小、例年田園劇で祭を盛り上げる作り物は踊り場に展示=写真=という異例の開催となった。



「ナラシ」と呼ばれる太鼓踊の練習に約1週間通い、多くの方の七夕踊への想いを聞き、踊り手が地域の代表として参加する「太鼓踊」、地域住民が協力して完成する「七夕踊」が、地域の人材育成や地域の人々をつなぐ役割を果たしていたのだと強く感じた。

七夕踊の休止を惜しむ多くの声が上がると、若い世代の中から太鼓踊を伝承していきたいという話も出ていたという。



次の世代への希望をつなぐ「最後」の七夕踊となった。

庭上りの奉納踊

こそありのままをまるっと受け止めて、詳しく聴き(受容傾聴)、アドバイスは最後に。」などと呼び掛けられました。  
参加された方からは、学んだことを家庭等で即生かしていきたいという感想が多く聞かれ、有意義な研修会になりました。この研修の成果がPTA活動や各家庭での子供たちとの接し方等に生かされることを願っています。

- ❖ 話を聞いて共感する部分が多かったです。笑顔が絶えない家庭をこれから築いていきたいです。
  - ❖ 最初から最後までお話に共感し、反省させられ、あっという間の講演会でした。
  - ❖ 具体的に分かりやすく、とても勉強になりました。もっと多くの人に聞いてもらいたかったです。
- 【出席者感想より】

日和下駄

地域の方々に感謝

いちき串木野市PTA連絡協議会  
会長 上新剛

私がPTA会長を務める串木野西中学校は、昨年度、創立50周年を迎えました。

新型コロナウイルスの影響により、記念式典等の大々的なイベントは断念しましたが、OBの方や地元企業、地域の方々からたくさんのお礼をいただき、学校に必要な備品の購入等に使用させていただきました。

また、先日は学校運営協議会を通じて地域の方々に「奉仕作業」のお手伝いをお願いしたところ、朝早くから草刈り等の作業を快く引き受けてくださいました。様々な場面での地域の方々のサポートは非常にありがたく、大変感謝しています。

学校としても、サポートをいただくだけでなく、地域へのお返しの一つとして、学校で育てた花の苗を地域へ配付する等の計画を立て、実行しているところです。

少子化の影響で生徒数の減少は避けられませんが、学校と地域の一体となった連携・協働は今後ますます必要になります。コミュニティ・スクールとして学校運営に参画し、学校を核とした地域社会の活性化に少しでも力になればと思っております。





### 夏休み親子ふれあい講座 東市来地域女性団体連絡協議会

本女性団体連絡協議会では「女性の知恵と実践で進めていこう」を合言葉に社会貢献活動を日々実践しています。

#### 子育て支援親子講座

7月31日(日)に夏休み親子ふれあい講座(小学生対象)を開催しました。当日は、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されている中、また台風5号が北上してきて影響が心配されましたが、進路がそれ事なきを得ました。10家族14人の小学生が参加しました。

講座の内容は、軽石、廃鉢、空き缶などを使っての植物の寄せ植えです。女性団体のサポーターの指導を受けながら、軽石に穴を空けたり、海岸への流木等を使ったりして、着生ランやシダなどの植物を、苔やへちまのたわしなどでくるんで、ひもでしっかり流木に括り付けたり、廃鉢等を使って寄せ植えをしたりしました。最後に貝殻や小石などを上手に配置して、素晴らしい作品を作り上げることができました。子供たちだけでなく大人も夢中になって楽しんでいました。



寄せ植え用軽石加工中の様子

### 地域活性化の拠点に！「東市来ドーム」堂々の完成

令和4年5月14日(土)、日置市東市来総合運動公園内に、待望の屋内運動場「東市来ドーム」(東市来町伊作田)が完成しました。

フットサルコート1面、テニスコート2面、ゲートボールコート2面が整備され、災害時には緊急一時避難場所として使用できるよう防災備蓄倉庫や災害用トイレ(マンホールトイレ)も整備されています。

競技場内は、本市では初のノンサンド(砂なし)人工芝が採用され、靴の履き替えを行うため衛生的で、避難所として使用の際にも安心安全な造りとなっています。

また、高齢者や障がい者の方も安心して施設を利用できるよう、多目的トイレには大人も利用できる折り畳み式のベッド(ユニバーサルシート)も設置されています。

当日行われた落成式では、吹上青松太鼓の演奏が披露され、テープカット、建設にかかわった方々への感謝状の贈呈などが行われました。



落成式の様子

落成式後には、防災備品の設営展示も行われ、マンホールトイレの使用の実演も行われました。

また、オープンニングゲームとして、鹿兒島城西高等学校サッカー部と伊集院高等学校サッカー部によるフットサルが行われました。

トサルのミニゲームが行われ、選手たちは真新しい人工芝の感触を確かめながら白熱した試合展開となりました。ゲームに参加した選手からは、ノンサンド人工芝について、「感触がとてもよく、プレーしやすかった。また利用したい。」と高評価をいただきました。

今後は、地域住民や市外利用者との交流拠点として、また、屋外の他のスポーツ施設と絡めたスポーツキャンプの場として地域活性化に役立てる施設を目指していきます。

今後は、地域住民や市外利用者との交流拠点として、また、屋外の他のスポーツ施設と絡めたスポーツキャンプの場として地域活性化に役立てる施設を目指していきます。



ノンサンド人工芝

- ❖ 予約受付は？  
東市来総合運動公園  
TEL099-274-0405
- ❖ 予約はいつから？  
日置市民・2か月前  
日置市外・1か月前



東市来ドーム外観

東市来ドームで汗をかいた後は、日置市の歴史ある温泉や、新鮮な海産物など多数ありますので、みなさん、是非ご利用ください。

### 三島村四校 全校「金賞」受賞！ 県中学校音楽コンクール

毎年7月に宝山ホールで開催される県中学校音楽コンクール「夏の祭典」。その器楽の部で、三島村の全ての義務教育学校がアフリカの太鼓ジャンベを演奏し、金賞受賞という初の快挙を成し遂げました。

夏の祭典には、昨年度まで硫黄島学園と竹島学園が出場し、それぞれ金賞を受賞して来ましたが、今年は両校に加えて、大里学園と片泊学園が初出場し、4校揃っての出場となりました。その数、硫黄島14人、竹島5人、大里9人、片泊8人。

大きなホール、多くの聴衆を前にした緊張の中で迎えた本番。各学園、少人数ながらも迫力あるジャンベの音色がホール中に響き渡りました。聴衆の心を一気につかみ、緊張を楽しさに変えて、生き生きと演奏を終えた子供たち。その表情は、安堵と自信に満ちあふれていました。

楽譜がない、指揮者もない中、自分たちで音楽を作りあげていく難しさやピタッと音が重なった時の感動。子供たちはこの大舞台で改めてジャンベの素晴らしさを実感したようです。



本番前のリハーサル(大里学園)



# 学校応援団の頑張りとお 児童生徒の変わりよう

地域学校協働活動  
学校支援コーディネーター  
濱田 俊浩

いちき串木野市における地域学校協働活動としての地域から学校への協力（学校支援）は、登下校の見守りや校内の環境整備、「総合的な学習の時間」における農作業体験などの支援、そして教科の授業補助など多岐にわたっています。

本市では早くから活動が進んでいて、今ではすっかり根付いています。毎年、同じような内容や活動であっても、児童生徒には様々な変化が表れているように感じます。

授業には、主として知識を習得する学習だけでなく、ものづくりや製作活動等がメインとなる教科もあります。

**事例Ⅰ**  
家庭科で針目に糸を通してボタン付けをする、あるいは切れたり、ほつれたりした部分を縫うという作業をしようとしたとき、やり方が分からない、上手にできないことがあります。そんなとき、手縫い、ミシン縫いなど具体的な支援を受けることで、作品を完成すること



ミシンを上手に使えたよ



ができるようになります。

子供たちのできるときへの達成感、素晴らしいものがあると家庭科の先生がおっしゃっていました。

## 事例Ⅱ

小学3年生の学習に金づちで小さな木切れに釘を打ち付ける作業があります。釘を手にとって金づちで打ち込む作業はほとんどの子供が初めてです。時間の制約もあり、担任教師一人で全ての子供の活動を見届けることは難しいものです。そこに作業を補助してくれる支援者のサポートやアドバイスがあると助かります。

最近では家の中で、のこぎりを使う、鎌を使う、鋏を使うなどの道具を使う機会が少なくなっています。学校で体験する学習（作業）は大変貴重であると言えます。

担任の先生は、授業の手助けによりスムーズな授業が展開できたことと、支援を受けて、作品を完成させることができた子供たちの満足げな姿が見られたことに感謝されていました。



エプロンづくり

## 地域住民が支援する「地域の中の学校づくり」

成果としては、地域の学習支援ボランティアの方々のお手伝い（学校支援）が、子供たちに「できるようになった。」という充実感や喜びにつながっていると思います。

また、このような学習支援を通して、児童生徒の変わりようを目の当たりにすることは、支援する人にとっても大変嬉しいことで、やりがいや生きがいづくりにつながっています。

今後、地域住民の学校支援の場がますます増えることで、学習環境が整備され、充実した教育活動につながっていくことが期待できます。

そして、学校と地域の連携が更に深まり、未来を担う子供たちが地域社会の一員として活躍していただくことを願っています。

## いちき串木野市の未来を担う子供たちの成長を地域で支える体制

令和3年度から各校に推進員が配置され、学校からの要望を聞きながら、ボランティア（支援者）を探して、授業や学校行事などの学習活動がうまくいくように、また、理解が進むように手助けしてくれる体制になりました。



## 子ども会夏祭り

諏訪之瀬島子ども会

今年「子ども会」主催の夏祭りが開催されました。コロナ禍により、長らく開催できなかったため、夏祭り開催を子供たちや島民の方々とても心待ちにしていました。

夏祭りでは、感染防止対策を講じ、一部内容の制限はしましたが、子供たちは、夏の訪れを感じながら、祭りでの出店の雰囲気を楽しんでいました。

出店では、輪投げや手作りの射撃写真、手先の器用さと集中力が試される型抜きなど、お祭りならではの楽しい催物が用意されました。大人の方々も自分の子供時代を振り返りながら、一緒に祭りに参加し、島民同士の親睦を深めることができました。



諏訪之瀬島での行事や地域活動は、自然体験、地域の伝統、文化継承の場となっており、青少年の健全育成に大きく寄与しています。

コロナ禍で日々、変化する社会環境にあっても、島民同士のふれ合いの場である地域行事をこれからも大切に、子供たちにもきちんと伝えていきたいと思っています。

十島村教育委員会

いちき串木野市教育委員会社会教育課



文化財は地域の貴重な財産

「鹿児島地域文化財保護審議会委員及び文化財行政担当者等研修会」を7月6日(水)、県民交流センターで36人の参加を得て開催しました。

＜内容＞

- 1 事例発表 「鹿児島城跡国史跡指定に向けた取組について」 ・鹿児島市教育委員会文化財課 有川孝行 専門員
2 各市村取組発表・質疑応答
3 全体研修 「県文化財保護行政の概要」 県教育庁文化財課 ・堀口宗一郎 文化財主事 ・馬籠亮道 文化財主事兼専門員
4 研修視察



御楼門の前で説明を受ける参加者

研修視察は、蒸し暑い中でしたが、鹿児島城跡及び周辺を見学しました。講師の県歴史・美術センター黎明館学芸調査係西野元勝主査の案内で、鹿児島城の歴史や遺跡など詳しく説明をしていただきました。参加者は丁寧な説明に聞き入り、その当時の鹿児島城と城下町に住む人々の生活に想いを馳せていました。日置地区にもゆかりのある島津氏の歴史を知る有意義な研修会となりました。

人づくり・地域づくりのために！

10月24日(月)、いちきアクアホールで3年ぶりに開催され、公民館関係者約50人が参加しました。

事例発表 「旭地区の紹介」

旭地区まちづくり協議会長 平田隆一 金山の歴史と共に歩んできた旭地区まちづくり協議会が、地域に密着した取組を発表されました。

協議会は、生活部、まちづくり部等の6つの専門部があり、生活部の「特定検診受診率アップ」や「DVD動画によるころぼん体操の実施」など、高齢者の元気度アップを図る特色ある活動などを発表されました。

参加者からは「課題が山積する中で、子供や高齢者のために協議会がリーダーシップを取り、きめ細かな地域づくりができていく。」等の感想が寄せられました。



研究会の様子

3年ぶり 日置地区公民館経営研究会

「人と人がつながる地域づくりの仕掛け方」地域イベントを活用したまちづくりと人材育成」

株式会社KISYABAREE 代表取締役 須部貴之

人のつながり・絆をコンセプトに地域開発、人材育成等に取り組んでおられる須部貴之氏に御講演をお願いしました。



講師の須部氏

須部氏は「騎射場のきさき市」(鹿児島市)という約1万人が参加する地域イベントを主宰し、これからのまちづくりには人的資源・文化的資源・歴史的資源・環境的資源を掘り出し、新たな地域価値を生み出すことが必要であると話されました。そして、参加者は、「イベントが目的ではなく、地域存続のために、つながりをつくること、人づくりが大切。」「子供に地域の思い出を残す場

第44回全国公民館研究集会 第73回九州地区公民館研究大会 鹿児島大会

大会テーマ 「いっしょき きばいもんそ公民館。九州はひとつ！」 ~命を守り、ただ一人として取り残さない社会の実現へ~

本県での8年に1度の大会

本大会は、9月1日・2日、全国から1500人(含録画配信)の参加者を得て、かごしま県民交流センター等で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催形態を変更して行われました。

★録画配信のみでの開催 《録画配信期間》 ・令和4年11月上旬~12月上旬(約1か月間)

九州各県の事例発表等を視聴し、今後の公民館活動に生かすことができました。

編集後記 「風土」とは、その土地からいずれば離れてしまう「風の人」と、その土地にずっと生活し続ける「土の人」との織りなすハーモニーなのだ、と教えてもらったことがあります。今回も豊かな風土に育まれた地域の貴重な情報を届けていただきました。感謝! (事務局 田中)

- 受賞 おめでと〜いございます 【全国・九州・県表彰】 ※敬称略
★社会教育功労者表彰(文部科学省)
○勝目 眞理子(いちき串木野市)
★全国子ども会連合会表彰
○松下 良照(いちき串木野市)
★日本PTA全国協議会表彰
湯田小学校PTA(日置市)
★九州ブロックPTA協議会表彰
○羽鳥中学校PTA(いちき串木野市)
○草野 勝徳(日置市)
★県文化財功労者表彰
○徳重 涼子(いちき串木野市)
★県子ども読書活動推進優良団体
○串木野小読み聞かせグループ「花さき山」
★県優良少年少女団体表彰
○妙円寺9区子ども会(日置市)
○寺脇子ども会(日置市)
【鹿児島県青少年育成県民会議表彰】
★第44回少年の主張鹿児島県大会 優秀賞
○平野 愛梨花(羽島中学校3年)
「世界の架け橋に」
★「家庭の日」作品展 最優秀賞
○川畑 柁音(伊集院小学校3年)
★「家庭の日」作品展 優秀賞
○倉園 和佳葉(伊作小学校3年)
○永井 文上(伊作田小学校5年)